

2024 年 7 月 17 日

逗 子 市

人命救助活動に対する感謝状の贈呈について

目の前で突然倒れた市民(心肺停止事案)に対し、適切な救命処置等を行った結果、傷病者が社会復帰したとして、消防協力者へ消防長から感謝状の贈呈を行います。

●日時・場所

令和 6 年 7 月 25 日(木) 10 時 00 分

逗子市桜山 2 丁目 3 番 31 号 逗子市消防本部 3 階

●消防協力者

事案 1 長谷川 隼人 様

事案 2 株式会社 百丹土地 マリンボックス 100 スタッフの皆様

(代表受賞 代表取締役 小林 太樹 様)

一般受講生 原田 快帆 様

●救急事故概要

事案 1 令和 5 年 11 月、ランニング中の男性が突然倒れ、心肺停止状態となりました。長谷川さんが目撃し、すぐに声をかけましたが、意識もなく呼吸もしていなかったため、近くにいた人に 119 番通報を依頼し、自らは胸骨圧迫を実施しました。

救急隊到着までに絶え間ない胸骨圧迫を実施してくれたおかげで、傷病者の社会復帰に貢献したものです。

事案 2 令和 6 年 5 月、マリンボックス 100 の敷地内で、講師の男性が突然倒れ、心肺停止状態となりました。スタッフ及び受講生だった原田さんが連携し、適切な心肺蘇生法及び AED の電気ショックを実施した結果、救急隊到着時には自己心拍及び自発呼吸が再開し、搬送中に意識が回復しました。

日頃から、AED の設置場所などを把握し、非常時に適切に処置をしてくれたおかげで、傷病者の社会復帰に貢献されたものです。

●適切な判断・処置、そして勇気ある行動

目の前で突然人が倒れ、どうしたらよいのか戸惑ってしまう状況下で、消防協力者の皆様が傷病者に対し、冷静に適切な判断や処置が実施できるのは、AED の設置場所の確認や胸骨圧迫の方法などの知識を身に着けていて、日頃から非常事態に備えているためです。

また備えだけではなく、皆さんの勇気ある行動によって、傷病者は無事に退院し社会復帰されました。

消防協力者の適切な判断・処置、そして勇気ある行動に対し、消防長から感謝状を贈呈するものです。

本件に関するお問い合わせ先：

逗子市消防本部消防総務課 鈴木

電話：046-871-4325 内線 211